

【気候変動対策 2026】

世界動向と GX-ETS、水素・アンモニアの展望

講師

一般財団法人電力中央研究所 社会経済研究所

研究推進マネージャー(セキュリティ・サステナビリティ) 上野 貴弘 氏

株式会社野村総合研究所 エネルギー産業コンサルティング部

グループマネージャー 佐藤 仁人 氏

NPO 法人国際環境経済研究所 主席研究員

元内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)

「エネルギーキャリア」サブ・プログラムディレクター 塩沢 文朗 氏

日時 2026年1月26日(月) 午後1時～4時50分

受講方法 会場受講／ライブ配信／アーカイブ配信(2週間、何度でもご視聴可)

会場 紀尾井フォーラム 千代田区紀尾井町4-1 ニューオータニガーデンコート1F

I. 気候変動対策を巡る世界の情勢と日本が進むべき道について 上野 貴弘 氏【13:00～14:10】

気候変動はグローバル課題であることから、長年、国際協調のもとで取り組みが進められてきたが、米国のトランプ大統領はパリ協定再脱退を宣言した。米国トランプ政権の動向と、世界全体の動向を概観し、日本が進むべき道について考える。

1. イントロ(気候変動の国際協調の歴史、パリ協定の概要、温度上昇の現状)
2. トランプ政権の動向(排出規制の撤回、脱炭素支援の見直し、国産エネルギー推進の大統領令)
3. 世界全体の動向(協調と分断の構図、主要国の新目標)
4. 日本が進むべき道(中道路線の維持、エネルギーコストの抑制、気候変動対策に取り組む意義の問い直し)
5. 【参考】気候変動の国際協調はどこへ向かうのか
6. 質疑応答／名刺交換

II. 動き出す排出量取引(GX-ETS) 佐藤 仁人 氏【14:20～15:30】

排出量取引(GX-ETS)は2023～25年度の試行運用を経て、2026年度から義務的な制度としての運用が開始される予定。2025年末に政府から発表される取りまとめを踏まえ、本講義ではGX政策におけるその位置づけと制度の詳細について解説を行い、当該制度による企業経営への影響についての考察を述べる。

1. GX政策動向と排出量取引
2. 排出量取引制度の詳細
3. 排出量取引制度による影響
4. 質疑応答／名刺交換

III. 水素、アンモニアの導入に係る展望と課題 塩沢 文朗 氏【15:40～16:50】

水素、アンモニアは、日本の脱炭素化に重要な役割を果たすものだが、近年の政治経済環境の変化によって、関係プロジェクトの進展には停滞感が見られる。しかし、中長期的に見ると水素、アンモニアの導入は今後とも着実に進展し、水素とアンモニアの役割分担が明確になっていくと考えられる。その理由とともに、将来の課題、展望を解説する。

また、水素、アンモニアの導入に関して懸念されるリスクについての科学的解説と、必要なリスク管理対策等について説明する。

1. 日本にとっての水素、アンモニアの重要性
2. 世界の水素、アンモニア関連の開発プロジェクトの最近の状況
3. 水素、アンモニアの導入が着実に進んでいくと考える理由
4. 水素、アンモニアの役割分担の将来像
5. 水素、アンモニアのリスク管理対策についての科学的な考え方と必要な取り組み
6. 質疑応答／名刺交換

PROFILE 上野 貴弘(うえの たかひろ)氏

2002 年 東京大学教養学部卒業、2004 年 同大学院総合文化研究科国際社会科学専攻修士課程修了、一般財団法人電力中央研究所に入所。研究分野は地球温暖化対策。内閣官房・経済産業省・環境省の審議会・検討会(排出量取引制度、炭素クレジット、グリーンファイナンス、トランジションファイナンス、SDGs など)の委員を務め、COP には通算 16 回参加。2006～2007 年 米・未来資源研究所客員研究員。著書に『グリーン戦争—気候変動の国際政治』(中公新書、24 年)がある。

PROFILE 佐藤 仁人(さとう よしひと)氏

早稲田大学創造理工学研究科を修了後、2010 年に株式会社野村総合研究所に入社。2018 年にはケンブリッジ大学で経営学を修了。現在は同社のエネルギー産業コンサルティング部に所属し、グリーントランスフォーメーショングループのグループマネージャーを担う。専門分野は GX(グリーントランスフォーメーション)や脱炭素、電力を含むエネルギー業界で、政策策定支援、新規事業開発、実行支援、事業性分析・評価、調査など幅広いテーマに取り組む。2022 年より、経済産業省委託事業「GX リーグ運営事務局」において、プロジェクト全体を統括する立場を担っている。著書には「排出量取引とカーボンクレジットのすべて」(2023 年 10 月)、「分散型エネルギーリソースビジネス大全」(2022 年 12 月)、「カーボンニュートラル」(2022 年 6 月)など。

PROFILE 塩沢 文朗(しおざわ ぶんろう)氏

内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)「IoE 社会のエネルギーシステム(エネルギーマネジメント)」イノベーション戦略コーディネーター(2018 年度～現在)。元 SIP 「エネルギーキャリア」サブ・プログラムディレクター(サブ PD)(2014～18 年度)。1977 年 横浜国立大学大学院工学研究科化学工学専攻修了、1984 年 Stanford 大学大学院コミュニケーション学部修了(M.A.)。1977 年 通商産業省入省。2003 年 経済産業省大臣官房審議官(産業技術担当)。2004 年 内閣府大臣官房審議官(科学技術政策担当)。2006 年 退官。2008 年 住友化学入社、理事、主幹を勤めたのち 2021 年 3 月退職。2021 年～ 国際環境経済研究所主席研究員ほか、民間企業で DX、標準課、気候変動問題関連のアドバイザーを務め、現在に至る。著書に「カーボンニュートラル実行戦略—電化と水素、アンモニア—」(共著)2021 年、エネルギーフォーラム社ほか多数。

- 受講料 各受講方法 1 名につき 27,500 円(税込)
※会場又はライブ配信受講者様で、アーカイブ配信もご希望の場合は追加料金 11,000 円(税込)で承ります。
- お申込方法 二次元バーコード、又は FAX にてお申し込み下さい。
折り返し受講証、請求書、会場地図(会場受講のみ)をメール(PDF)にてお送り致します。
お申込み後、3 営業日以内にお手元に届かない場合は必ずご一報下さい。
(セミナー会場にて受講される方は受講証画面を提示、もしくはプリントアウトしてご持参ください)
※お客様の都合でキャンセルされる場合は、「開催 1 週間前まで」にお申し出下さい。
その後のキャンセルは、お申し受けできませんのでご了承下さい。
- お支払方法 請求書を発行いたしますので、開催日までに銀行振込でお願いします。(遅れる場合はご相談下さい)

事前に、セミナー講師へのご期待、ご要望、ご質問をお受けしております。
可能な限り講義に盛り込んでいただきますので、お申し込み後、弊社からご連絡するメールにご返信下さい。
■ライブ配信について <1>Zoom にてライブ配信致します。<2>お申込時にご記入いただいたメールアドレスへ視聴用 URL と ID・PASS を開催前日までに送り致しますので、開催日時に Zoom へご参加ください。
■アーカイブ配信について
<1>開催日より 3～5 営業日後を目安に Vimeo にて配信致します。
<2>お申込時にご登録いただいたメールアドレスへ収録動画配信のご用意ができ次第、視聴用 URL をお送り致します。
<3>動画は公開日より 2 週間、何度でもご都合の良い時間に視聴頂けます。

1 月 26 日(月)		「世界動向と GX-ETS、水素アンモニアの展望」		申込日 月 日	
貴社名					
所在地	〒 ○印をお付けください (ご自宅・お勤め先)				
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2 つ□をお入れ下さい。)					
☐ 会場受講		☐ ライブ配信		☐ アーカイブ配信	
フリガナ 氏名			所属部署・役職		
TEL	()	—	FAX	()	—
E-mail	ブロック体でのご記入をお願いいたします。				
いずれかの□に必ず✓をお入れ下さい。(アーカイブ配信の追加受講をご希望の場合は、2 つ□をお入れ下さい。)					
※「受講証」等の送付先が上記と異なる場合は下記にご記入下さい。					
通信欄					

詳細・お申込はこちら ↓ ■主催 公益財団法人 原総合知的通信システム基金
■事務局(お申込み・お問い合わせ先) 株式会社 新社会システム総合研究所

お申込み受付 FAX 03-5532-8851

〒105-0003 東京都港区西新橋 2-6-2 ザイマックス西新橋ビル 4 階

Tel:03-5532-8850 / E-mail:info@ssk21.co.jp / URL:https://www.ssk21.co.jp

※配信停止、宛先変更、個人情報の苦情及び相談・開示は上記までご連絡下さい。 26022-E

